

## 豊明市教育委員会 会議録

### 「定例会 令和8年1月」

令和8年1月20日（火）午後1時30分、豊明市教育委員会1月定例会は、豊明市役所新館3階教育委員会室に招集された。

#### 1 応招委員は、次のとおりである。

教 育 長	: 藤 井 和 久	教育長職務代理者	: 青 木 睦
委 員	: 井 戸 貴 子	委 員	: 南 寿 樹
委 員	: 八 尋 久 美 子		

#### 2 不応招委員は、次のとおりである。

な し

#### 3 出席委員は、次のとおりである。

教 育 長	: 藤 井 和 久	教育長職務代理者	: 青 木 睦
委 員	: 井 戸 貴 子	委 員	: 南 寿 樹
委 員	: 八 尋 久 美 子		

#### 4 欠席委員は次のとおりである。

な し

#### 5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	: 浅 井 俊 一	学 校 支 援 室 長	: 山 田 秋 男
学 校 教 育 課 長	: 秋 永 亘 正	生 涯 学 習 課 長	: 山 田 隆 貴
図 書 館 長	: 水 野 美 樹		

#### 6 傍聴の可否及び有無

傍聴無

7 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（係長）石川 拓也、事務局（主事補）松岡 美智代

本会事件は、次のとおりである。

議案

（1）豊明市教育委員会規則の一部改正について

報告

（1）令和7年豊明市議会12月定例会月議会一般質問について

（2）令和8年豊明市二十歳の会開催状況について

（3）豊明市スポーツ賞表彰授与式について

（4）豊明市スポーツ講演会について

（5）教育委員会後援申請について

（6）教育委員会への寄附・寄贈について

その他

（1）令和7年度小中学校卒業式の日程について

（2）コミュニティスクールの説明について

開会宣言 午後1時30分、1月定例会教育委員会の開催を宣言。

教育長 それでは、私から先回の定例会教育委員会後の報告をさせていただきます。

12月22日に、今年のプロ野球ドラフト会議でソフトバンクホークスよりドラフト4位指名を受けました相良雅斗さんの壮行会が二村台小学校で開催されました。相良さんは当時の双峰小学校、豊明中学校、豊田大谷高校を卒業し、岐阜協立大学へ進学されました。小学1年生から野球を始めたそうで、当時のコーチも会に出席されました。小学生、中学生の頃は、運動神経が良く肩が強かったものの、特に目立つ成績は収めていなかったそうです。高校生時代は野球部のレギュラーピッチャーとして活躍されていましたが、全国大会等への出場はありませんでした。大学生になり、社会人との試合の経験がご本人にとって1つの転機になったそうです。自分に何が足りないのか、それを克服するために何に取り組めばよいのかを考えて、例えば身体の可動域を広げるために、毎日1時間のストレッチを行うなど、幾つかの自分が弱い部分を補強することをご自身で勉強したり、周りの人に聞いたりしながら実践されました。その後徐々に野球での成績が伴うようになったそうです。大学3年生の時にプロを意識するようになり、周りの人が練習しない時間帯に練習をしたり、自分の中で課題を見つけて取り組むことで努力を重ね、プロ野球選手になることを実現できたそうです。プロ入り前に精密検査を受けた際に肩に問題が見つかり、将来に備えてトミージョン手術を受けたそうです。手術の影響で、来年1年間はおそらくプロ野球での活動が難しいとのことでしたが、自分の課題を見つけてじっくりやっていきたいということをお話されていました。二村台小学校の児

童は相良さんに直接会って話を聞いたり、色々な質問をしたり、とても有意義な時間を過ごしました。相良さんの恩師も3人来ていまして、話をして盛り上がっていました。

1月12日にスマートフォン条例の制定に伴う講演会が文化会館で開催され、東北大学の榎先生にご登壇いただきました。榎先生はスマートフォンがどのように脳へ影響を与えるかの研究に東北大学で取り組んでいまして、仙台市の教育委員会が協力し、児童、生徒のスマートフォンの使用と学力との因果関係について、長期的に調査しています。今回はその結果からスマートフォンが脳に与える影響について、スマートフォンを使いすぎるとこうなるといった例などをわかりやすくお話いただきました。例えばスマートフォンを使いながら勉強に3時間取り組んでも、集中して勉強に30分取り組んだ場合と成績が変わらないそうです。現在国はタブレットを使用したICT教育を推進していますが、中学校の先生は学力向上とICTの関係について迷いがあると質問しています。榎先生は、「小学校低学年からタブレットを使用した教育を行うことは避けた方がいいのではないか。」とお話しされました。一方で中学生に関しては、「ICT教育を行うことによって成績が伸びるようであれば、その生徒の適正に合っているのが良いけれど、個人差があるので見極めが大切である。」とのことでした。仙台市では中学生に向けてスマートフォンが脳に与える影響を説明しているそうです。今後豊明市内の中学校でもそのような話を聞く機会が作れるかもしれません。

令和8年度の予算について、まもなく議会が始まりますので上程する予定です。この議会においての決定となりますが、教育委員会として取り組む新しい事業についての予定をお伝えいたしますので、ご承知いただければと思います。

トイレの洋式化について、特別教室の前のトイレなど未実施の箇所が残っている学校が幾つかあり、また特別教室のエアコンも未設置の教室がありますので、引き続き工事を実施していく予定にしています。栄小学校の長寿命化工事について、令和8年、9年にかけて実施をしていく予定です。

以前にお話ししました雷や竜巻の情報を事前に察知するウェザーニュースについて、4月から契約する予定をしています。

後ほど学校支援室より説明をしますが、来年度全ての小学校でコミュニティスクールを設置いたします。それとは別に、地域学校協働活動推進事業について、2校で実施したいと考えています。コーディネーターについては時給制となる予定です。

小学生の朝の居場所づくりとして、保護者が勤務時間の関係でどうしても早く自宅を出発しなければならない場合、朝7時以降の時間帯に小学校で児童をお預かりする事業を考えており、そのモデル事業として市内小学校で実施する予定です。

今年度から中学校生徒会提案事業を実施し、栄中学校に木製ロッカーを設置し、沓掛中学校にシャワーミストを設置しました。来年度については当初予算で盛り込まずに、生徒会から提案がありましたら随時予算をつけるという形に変更する予定にしています。

決定前ではありますが、国が小学校の給食費を月額5200円補助するという一方で、おそらく11ヶ月分の給食費が国から補填されることになりそうです。それが叶えば、小学校の給食費は完全に無償化となります。市の税金として使う分が少なくなり、国からの歳入で不足する分については市が補填する見込みです。

夏休みの全校出校日が例年8月20日頃にあります。非常に暑い時期で、沓掛中学校ではモデル事業として、夏休み期間の出校日を取りやめているところですが、近隣3市1町の教育長の話の中で、夏休み期間の出校日は取りやめる方向で進めることにしまし

た。昨年から校長会等でも議論になっていまして、各校で賛否両論があり、昨年の提案の段階では出校日を設けることになっていました。併せて例年4月に各小中学校で行われている離任式についても見直していくことになりました。これも校長により様々な考え方がありますので、今後調整を進めます。個人的には希望があれば実施する学校があってもよいと思っています。県内では廃止となった市もありますので、時代の変化の中で廃止を検討していく必要があると思っています。

スクールソーシャルワーカーについて、現在は毎朝市役所へ出勤し、市役所から各学校へ出向いていますが、「スクールソーシャルワーカーに常駐してほしい。」と学校訪問の際に小学校から要望があり、来年度に市役所配置から学校配置へ切り換え、拠点の学校へ出勤し、そこから各学校へ出向いていただくことを考えています。ちょっとした時間に児童、生徒の様子を見たり、保護者の来校時に話をしたりすることで、学校現場に近い位置で様々な接点を持てるため、要望があった学校を拠点にして、巡回する形にしたほうが良いと考え、試験的に実施しようと思っています。については、配置の変更やスクールソーシャルワーカーとの関わり方について、学校へ説明を行う予定です。現在の市役所の机はそのまま残し、パソコン等も継続して使用しますので、仕事内容が大きく変わるということではありません。

現在フレンドひまわりが勅使と栄に2か所設置されていますが、ここ数年利用者が減ってきており、校内別室登校が始まってからはさらに利用者が減っている印象があります。来年度に豊明市の施設の見直しをするにあたり、フレンドひまわり2か所を今後どうしていくかについて、来年1年をかけて考えていきたいと思っています。今の2か所を1か所に統合するか、或いは別の場所へ移転する方がいいのか等も含めて、できれば来年秋頃を目途に方向性を定めていきたいと思っています。

私からは以上です。今の報告につきまして、ご意見ご質問等がありますか。

委員 夏休みの全校出校日について、現在は学校毎に校長が決めていることなのか、教育委員会で定めていることなのかどちらでしょうか。また、元々の目的についても教えていただきたいです。

教育長 現在は学校裁量により実施されています。目的としては、9月の新学期が始まる前に1回実施し、児童、生徒の様子を確認したり、宿題や課題を提出したりすることです。今回近隣3市1町の教育長から、「一緒にやめることにしませんか。」という話がありましたので、現在の気候変動による夏の暑さを考慮し、廃止について校長会でお伝えしました。どうしても実施したい学校があれば、出校日を継続しても構いませんが、「市教育委員会としてできれば足並み揃えていきたい。」と話しました。

委員 コミュニティスクールや地域学校協働活動のモデル校を増やす内容について詳しく教えてください。

教育長 コミュニティスクールは全小中学校に設置し、地域学校協働活動推進事業のモデル校については2校とする予定をしています。コミュニティスクールは地域の区長等の代表者を中心に集まり、学校の経営方針や運営方針について校長から話を承認していただきます。地域学校協働活動推進事業は、学校でイベントや実習などがある際に、

精通した人材に助けをもらう、例えばミシンの実習があるのでミシンの得意な方にお手伝いをお願いしたい時に、学校と地域の人々をつなぐコーディネーターの役目を担う人を設置する事業です。三崎小学校から希望があり実施を予定していたのですが、市南部に位置する栄小学校でも実施する予定としています。ある程度学校のことばかり、地域に人脈がある方をお願いしたいと考えています。その他にご意見ご質問等よろしいでしょうか。（なし）

## 議事の経過

教育長 それでは議事に入ります。議案（１）「豊明市教育委員会規則の一部改正について」説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第１号に沿って説明を行う。）

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）では、議案（１）「豊明市教育委員会規則の一部改正について」承認される方は、挙手をお願いします。（全員挙手）それでは、承認いたします。では、続きまして、報告（１）「令和７年豊明市議会１２月定例会月議会一般質問について」説明をお願いします。

教育部長 （資料第２号に沿って説明を行う。）

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 いたうひろし議員のＩＣＴ教育の現状やあり方について、「ＩＣＴ教育が普及することによって教員の働き方が変わったのではないか。」という趣旨で聞かれたのでしょうか。

教育部長 ＩＣＴ教育というよりも、例えば授業の準備をする等の事務的な部分でＩＣＴの活用が進み、その部分について教員の働き方改革として業務の削減になっているとお答えしました。

委員 三浦桂司議員の「日本語教育支援を確認したい。」という質問に対してどのように回答されましたか。

教育部長 日本語教育支援の内容について、当日質問に挙がらなかった経緯があります。

教育長 その他にご質問等よろしいでしょうか。（なし）では、続きまして、報告（２）「令和８年豊明市二十歳の会開催状況について」説明をお願いします。

生涯学習課長 （資料第３号に沿って説明を行う。）

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 開催場所を教えてください。

生涯学習課長 文化会館大ホールで学校毎に時間を設定して開催しました。

教育長 その他にご質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして、報告(3)「豊明市スポーツ賞表彰授与式について」説明をお願いします。

生涯学習課長 (資料第4号に沿って説明を行う。)

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして、報告(4)「豊明市スポーツ講演会について」説明をお願いします。

生涯学習課長 (資料第5号に沿って説明を行う。)

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 講演者は豊明市とどのような関係にある方が教えていただけますか。

生涯学習課長 三重県内の地方自治体で元々私たちと同じ市の職員として働いておられまして、その後大府市にある至学館大学でレスリングのコーチをされています。市長同士の間で話に上がり、近隣市の繋がりで豊明市で講演会を行っていただくことになりました。

教育長 その他にご質問等よろしいでしょうか。(なし)では、続きまして、報告(5)「教育委員会後援申請について」説明をお願いします。

学校教育課長 (資料第6号に沿って説明を行う。)

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして、報告(6)「教育委員会への寄附・寄贈について」説明をお願いします。

学校教育課長 (資料第7号に沿って説明を行う。)

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして、その他(1)「令和7年度小中学校卒業式の日程について」説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料1に沿って説明を行う。)

教育長 前回の校長会で、教育委員会告辞の順番についてのお願いと、来賓として教育委員会出席者を1人ずつご紹介いただくことは遠慮したい旨をお伝えしました。ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし)では、続きまして、その他(2)「コミュニティスクールの説明について」説明をお願いします。

学校教育指導員 (その他資料2に沿って説明を行う。)

教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 学校訪問では、コミュニティスクールとは言いながら、学校に対してどのようにボランティアとして参加してもらえるかという話を結構お聞きします。先ほどご説明にありました自転車の車輪の例えで、地域学校運営協議会と地域学校協働活動が具体的にどういうイメージで車輪の両輪として運営されるのでしょうか。先生方は地域の方にボランティアとして参加してもらえると思っているところがあると感じています。運営協議会でその経営方針を承認する、しないということによって、学校がどう変わるのかが具体的にイメージできていないのではないのでしょうか。また、その車輪になることによって学校はどうなるかというリソースはどのように考えればいいですか。

学校教育指導員 設置校を増やすことは数値的な目標ではありますが、すでに設置されている学校での実効性について、実際に効果があるようにしていくために、色々と説明しているところです。その中で今お伝えしているのが、「やらせてもらう。」から「一緒にやりましょう。」という発想に変えていかなければならない点です。軌道に乗れば教頭先生の負担が絶対に減るということを、先進地視察で見えています。学校によっては軌道に乗るまでに約2年かかるとお聞きしました。段階的に説明をして浸透させていくことが私たちの責務だと思っています。そのためにも、コーディネーターを担っていただける方にこれからお願いをして、ご指摘のとおり先生だけではなく地域の皆さんと一緒に児童、生徒の健全な育成を考えていくことを考えています。

委員 ボランティアでミシンの実習に参加してもらおうとか、学校の草取りをやらせてもらうとか、その位でしか話が挙がってきていないと思います。地域の方の参加によって、学校教育がどのようになっていくのか、一緒にやるというのがどういうことなのか、まだイメージがはっきりと持ちづらいです。

学校教育指導員 例えば市内中学校に「花ボラ」という方々がいらっしゃいます。学校花壇の手入れをお願いして、花壇が綺麗になることで双方が喜びを感じられます。両者にとってプラスになるように今後も取り組んでいくことを考えています。

委員 学校予算が少ない中で、用務員さんの仕事を地域の人に手伝ってもらう、家庭科の実習でミシンの得意な方に協力してもらおうなど、地域の人々の資源を学校で使わせてもらうというのは、教員不足等で足りない分を補足してもらうために、聞こえのいいコミュニティスクールという名称で教育予算を抑えていると受けとめられかねないです。また、学校の経営や教育内容にまで地域の人が意見や要望を伝えるようになった際に、どのよ

うに調整していくのでしょうか。WIN-WINやHAPPY-HAPPYの関係性が理想ではありますが、互いの信頼関係をどのように作っていくか、ボランティアの方になぜ来てもらうのかという点を明らかにしないと、理想があっても現実として上手く地域の人との信頼関係を築けるのか疑問に思います。もう1つ教えていただきたい点は、先ほど会議の傍聴に来ていただいてもよいとの話がありましたが、例えばどんな議題が具体的にありますか。

学校教育指導員 予算が及ばない部分を補足することを意図したわけではないと私は認識しています。それよりも、「一緒に子どもたちのためにやりましょう。」という考えが先にあります。結果的にそうなるかもしれませんが、それは目的として下の方であると思います。地域と連携していくための仕掛けとして、この取り組みを始めていくことが大事だと思います。会議の具体的なテーマとして、他市への視察で特徴的だったのは、部活動の地域展開についての熟議です。「伝統的な和太鼓部がなくなることになるけれど、伝統である和太鼓を存続させたい。どうしたらいいだろう。」ということでした。和太鼓部の部長、小中学校の先生関係者、中学生の代表が集まり、どのように伝統が残せるのかということをお話し合いました。印象的だったのは、「自分たちが楽しいだけでなく、みんなが支えてくれていることがわかった。」と中学生が最後に感想を話していたことです。このような機会を作っていくことが大事だと思いました。

委員 コミュニティスクールについて誤解のないように、あるべき姿やイメージをみんなが持てるようにしていくことが大事だと思います。その上で理論として説明できるようにし、対応していただきたいです。我々も「みんなで支えていきたい。」という思いです。

教育長 色々な考え方があると思いますが、例えば先ほどの家庭科の話では、今の若い先生はミシンの経験は実習程度であまりなく、児童、生徒に指導することが難しいと思いますし、戦争についての学習にしても、「こんなことがありました。」と実体験を聞くことで説得力があります。先生が全てを経験しているわけではないので、専門性のあることについて、地域の方のお力を借りていくことが教育上とても意味があると思います。

委員 以前に妊婦さんにお越しいただいて、命の大切さについて話をお聞きしたことがあります。ミシンや伝統芸能もそうですが、教科書だけではなく本物に触れることや、第一人者に話を聞くことが一番の教材になるので、門戸を開いて地域の方と信頼関係で繋がり、上手く機能していくといいなと思っております。

教育長 徐々に地域と学校に信頼関係ができれば、お互い本音で意見を出し合い機能していくのではないかと思います。その他にご質問等よろしいでしょうか。(なし)では、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 (令和8年2月20日(金)午前10時00分から2月定例教育委員会を、令和8年3月6日(金)午前11時00分から3月臨時教育委員会を、令和8年3月19日(木)午前11時00分から3月定例教育委員会を開催する旨提出。)

教育長 その他にございますか。

学校教育課長 令和8年度豊明市教職員着任式について、机上に案内をお配りしています。

教育長 その他にございますか。(なし)

閉会宣言 午後2時36分、1月定例教育委員会の閉会を宣言。